

JFSM 倫理規範

私たちは、日本発の食品安全マネジメント規格の普及等を通じて世界の食品安全へ貢献し、世界中の消費者が安心して暮らせる社会を目指します。

一般財団法人食品安全マネジメント協会（JFSM）は、以下の目的のために設立されました。

- (1) 食品関係事業者の食品安全、品質管理及び信頼確保の取組を向上させること。
- (2) 食品安全管理等に係る取組を標準化することにより、食品事業者の安全管理等に係るコストの最適化を図ること。
- (3) 食品事業者の取組や食品の取扱いの透明化を図り、関係事業者や消費者の選択や信頼に寄与すること。

倫理規範に基づく取組み：

1.法令及び社会規範の遵守

私たちは、法令、公表文書、規程、内規を遵守して業務を遂行するとともに、業務品質マネジメントシステムを確立して維持し、法令諸規則や社会的良識に則した組織であり続けます。独占禁止法その他の関連法令を遵守し、利益相反の発生を防止します。また、取引先との間で社会通念を越える贈答・接待の実施および享受を行わず、JFSM を利用して個人の利益を図りません。

2.人権の尊重

私たちは、すべての人々の人格と人権、プライバシーを尊重し、ハラスメント行為・プライバシーの侵害に対して断固たる態度で対応します。

人種、民族、国籍、宗教、思想信条、年齢、性別、社会的身分、職業、身体的特徴等の属性、学歴、性自認、性的指向、障がい、疾病その他理由の如何を問わず、差別や人権侵害を行わず、また、児童労働・強制労働を認めません。

3. 社会貢献

私たちは、事業を行う国や地域の文化を尊重し、地域社会と良好な関係を作り上げ、共に発展していくよう努めます。

4.反社会的勢力との絶縁

私たちは、市民、社会、協会の事業活動に脅威を与える反社会的勢力に対し、毅然とした態度で臨み、絶縁を徹底します。

5.政治・宗教活動、勧誘活動の禁止

私たちは、職場内での政治活動、思想活動、宗教の布教活動、あるいは個人や特定の団体の利益を図るよ

うな勧誘活動は行いません。

6. 健康で安全な職場づくり

私たちは、すべての職員が健康で安全に働ける職場環境を目指すとともに、職員の多様性・創造性を尊重し、ワークライフバランスの実現できる職場づくりに努めます。

7. 公正な事業の運営

私たちは、公正、透明で自由な競争および適正な取引を行います。認証プログラム、適合証明プログラムに関わるコンサルテーションとなる活動、JFS 規格取得の強要をする優越的地位の濫用を行いません。

8. 知的財産権の尊重と活用

私たちは、JFSM の名称、ロゴ、出版物、文書、技術開発等により得られたノウハウを含む知的財産が、第三者によって不正に使用されないよう適切に管理・保護します。また、他者の知的財産権を尊重し、故意に侵害しないよう努めます。

9. 機密情報の管理

私たちは、JFSM の機密情報ならびにすべての関係者の個人情報を適切に取り扱い、それらの情報の保全・管理を徹底します。

10. 倫理規範の実践

万一、本規範に反する事態が発生した場合、真摯に原因究明および再発防止に努めます。

対応においては、通報者の匿名性やプライバシー保護を徹底し、通報者に対して不利益な扱いは一切行なわないとともに、通報者が嫌がらせや報復を受けないようにします。

本倫理規範は、年に一度見直しを行い、全職員が内容の確認を行います。